

1年 組（ ）番 氏名（ ）

目標：環境保全型農業を探究し、自校の栽培プロジェクトで環境負荷を軽減した取組を提案してみましよう。

1. 環境保全型農業とはどのような農業でしょう。

農業の持つ（ ）機能を生かし、（ ）との調和などに留意しつつ、（ ）等を通じて（ ）、（ ）の使用等による（ ）の軽減に配慮した持続的な農業

2. 環境保全型農業技術にはどのようなものがあるでしょう。

(1) まず、個々にWebで調べてみましょう。

調べた内容

参考にしたHPなどを記録しておきましょう。

環境負荷を軽減する取組をまとめよう。



(2) 個々に調べた内容をグループで情報共有し、下表に整理してみましょう。

記入については、自分の収集した情報と比較しながら気が付いたことを記入してみましょう。

名前	発表内容

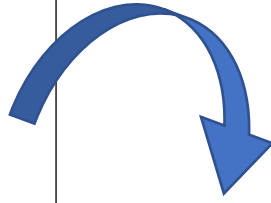
探究の流れ ワークシート①、②を使います。

課題の設定 → Webによる情報収集 → グループで情報共有 → 個人で考察 →
発表 → 振り返り

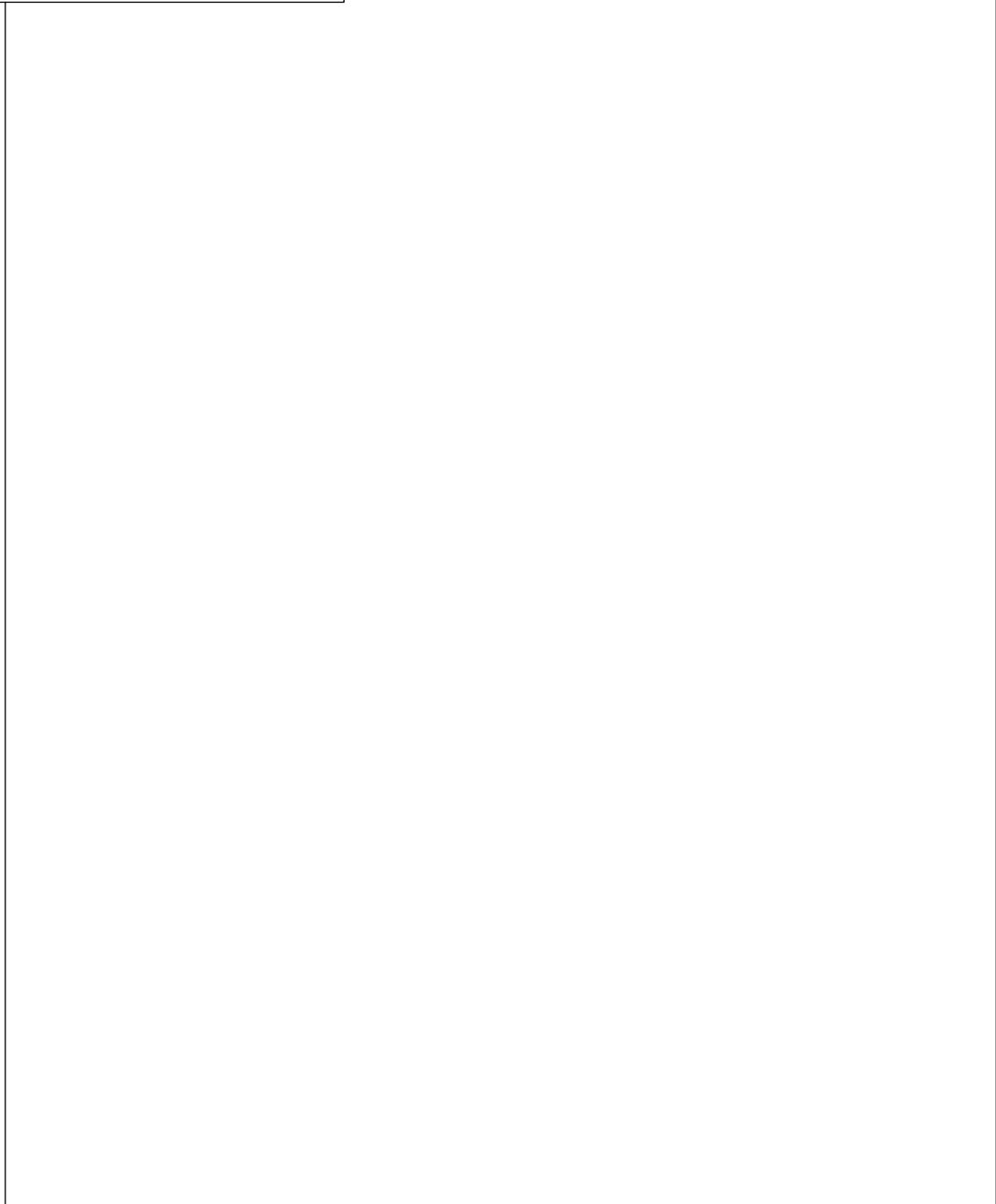
1学期の栽培プロジェクト



従来の栽培



環境に配慮した農業（イメージ図）



検印

農業と環境「環境保全と農業（教科書 p 80-81）」

1年 組（ ）番 氏名（ ）

ルーブリック 学習の達成度を判断基準表を用いて測定する評価方法のことです。

探究的な学習ルーブリック（農業）

評価	観点			
	Webによる情報収集	グループで情報共有	個人で考察	発表
S	環境保全型農業の取組について、多面的な視点をもって情報を収集し、得た情報の要点を整理してワークシートに記入している。	グループメンバーの発言内容について、要点を整理してワークシートに記入している。さらに、自分が収集した情報との関連性を踏まえて記入している。	自校における環境に配慮した農業の取組を、環境負荷の説明とともに具体的に示し、農業と社会のつながりについて言及して提案している。または、将来性や実現可能性があり、理にかなった独創的な取組を提案している。	自身が考えた環境に配慮した農業の取組について、発表資料とすることを前提に作成したワークシートを活用して、分かりやすく説明している。
A	環境保全型農業の取組について、情報を収集し、得た情報の要点を整理してワークシートに記入している。	グループメンバーの発言内容について、要点を整理してワークシートに記入している。	収集した情報を基に、自校における環境に配慮した農業の取組を、環境負荷の説明とともに具体的に提案している。	自身が考えた環境に配慮した農業の取組について、要点が整理されたワークシートを基に、分かりやすく説明している。
B	環境保全型農業の取組について、情報を収集し、得た情報をワークシートに記入している。	グループメンバーの発言内容について、ワークシートに記入している。	収集した情報を基に、自校における環境に配慮した農業の取組を提案している。	自身が考えた環境に配慮した農業の取組について、ワークシートを基に説明している。
C	環境保全型農業の取組について、情報の収集が不十分で、ワークシートへの記入も不足箇所がある。	グループメンバーの発言内容について、ワークシートに記入しているが不足箇所がみられる。	自校における環境に配慮した農業の取組の提案が不十分である。	自身が考えた環境に配慮した農業の取組について、ワークシートを基に説明しているが、不明瞭で分かりづらい。

自己評価（振り返り） ルーブリックの判断基準をみて、各観点の評価と理由を記入しましょう。

観点	評価	理由
Webによる情報収集		
グループで情報共有		
個人で考察		
発表		

相互評価（発表時） ルーブリックの判断基準をみて、各観点の評価と理由を記入しましょう。

（ ）

観点	評価	理由
個人で考察		
発表		

（ ）

観点	評価	理由
個人で考察		
発表		

（ ）

観点	評価	理由
個人で考察		
発表		